

豚農家の方々へ

「家畜の糞尿臭いの対策方法」

～独自開発、自然由来の「消臭ソイル」の使い方～

豚(糞尿)の諸問題点

豚の糞尿は水分が多く、糞の約2倍尿があり、糞尿を分別するのは困難であり、プールに集積し、糞尿を絞って糞肥料と尿廃液に分けて処理を致している現状であり、糞尿混合液は堆肥化には薄すぎ又汚水処理を行うのには濃すぎるので、糞尿分離を余儀なくされます。糞尿分離した糞は発酵を待って堆肥化する。分離した尿は、発酵を行い農地に噴霧するか、又は浄化槽で処理し河川に放流するのが一般的であります。臭いは尿からが大部分であり、**硫化水素の濃度は1000ppmに達する**。人命の致死量に値する濃度です。

(対策解決方法)

1.糞尿分別の場合

尿の貯め置き方法は、尿の中に、**消臭ソイル**を約**1トン基準に、1kg**を散布します。臭いが減少すると同時に、硫化水素が**触媒**により減少し液肥の発酵が促進し期間が短くなります。**消臭ソイル**はプール底下に沈殿するが農地に一緒に散布しても可能です。(基本的には栄養分の吸着した土)

2.浄化槽使用の場合

浄化槽での処理方法は、浄化槽中に**消臭ソイル**を散布すると廃液が浄化されます。投入する量は、10人槽で1kgを目安で、50人槽は5kg、100人槽で10kgを基準です。(取り換え時期は約1年ごとの汲み取り時期に入れ替える)

3.糞尿肥料活用の場合

- 1)糞に散布すると糞の醗酵温度が上がり、発酵期間が短く短縮されます。糞の発酵後、**消臭ソイル**は栄養分の吸着した土であり、作物には**土壤改良**で活用できます。(分量は糞約1トン当り、**消臭ソイル**を2kg散布)
- 2)糞尿の混合液に**消臭ソイル**を散布すると臭いが軽減すると共に、硫化水素、アンモニア等の濃度も軽減し、環境改善にも貢献できます。

(サンプルご希望は特別格安で提供いたします)

連絡先:担当篠崎 携帯:090-7792-1045 Mail:info@eco-hi.jp